

2016年1月9日

各位

謹啓 時下益々ご清祥のことと存じます。

さて、本日一部の報道で、昨日の参議院本会議にて採決された北朝鮮の核実験に抗議する決議について、私が本会議を出席しながらも投票上は「棄権」となっていたことが報じられました。本件については、私も本会議終了後にこのことを事務局より告げられ、大変驚くとともに、残念に思った次第です。

というのも遡ること一昨日、私は参議院本会議において、自民党を代表して安倍内閣に対する代表質問をさせていただきました。その中で私は安倍総理に対し、今回の北朝鮮の核実験は「明確な安保理決議違反」であり、国民を守るためにも、「断固たる姿勢で対処すべき」との強い提案をさせていただき、総理もそれに応えて「断固たる対応を行う」との決意を改めて示されました。

こうした流れでとりまとめられ、北朝鮮に対し、「厳重に抗議し、断固として非難する」とした決議文について、私は大いに賛同するものであります。私は何があってもこの本会議だけは欠席することは許されないことだと考え、万難を排して出席をいたしました。

今回、採決ボタンの機械の不良か、若しくは私のボタンの押し方が悪かったのか、投票行為が認識されず、採決の一票に加わることができなかったのは、こうした経緯からも、極めて残念に思っております。

しかし、北朝鮮の核実験に抗議する決議自体は採択され、政府は衆参両議会の強い決意の後押しも受けながら、国際平和に対する重大な挑戦を行った同国に対し、断固たる対応を行っていくことには変わりありません。

私も、今回どうしてこういうことが起こったのか、二度と同じ問題が起こらないよう、事務局とも相談しながら確認して参りたいと思いますが、本件について、関係各位の皆様にご心配をおかけし、ご迷惑をおかけしましたこと、改めてお詫び申し上げます。

謹白

参議院議員

末松信介

## 参考

平成 28 年 1 月 7 日参議院本会議における末松信介発言録(抄)

また昨日午前、北朝鮮が初めて水爆の実験を実施したことを発表しました。これは明確な安保理決議違反です。

政府も国家安全保障会議を開催し、対処しています。拉致問題を引き起こし、いまだ解決していない状況下で、こうした実験を行ないました。まさに危険国家であり、国民を守らなければなりません。

日・米・韓を中心とした国際社会との連携体制の下、断固たる姿勢で対処すべきと考えますが、総理の見解をお伺いいたします。

以上